



かけはし

Vol.132

2021年度

No.4

【ホームページアドレス】 <http://www.akunehp.com/>

当院は、地域医療の中核施設として人を大切にし、信頼される医療を目指します。



出水市 上場高原のコスモス

◆基本方針

1. 満足度の高い急性期高度医療の提供を目指します。
2. 十分な「説明と同意」による納得ある医療を心掛けます。
3. 「かかりつけ医」との密接な連携による医療を行います。
4. たゆまぬ学習と向上心による、より良い医療を目指します。
5. 公正で健全な運営を行います。

CONTENTS

*麻酔科紹介……………	1	*意見箱について……………	5
*患者さんの権利と責務……………	1	*外来診察表……………	6
*災害訓練(机上訓練)を実施して……………	2	*10月、11月の出水郡医師会 日曜祭日当番医……………	7
*医療機能情報提供について……………	2	*病院ボランティア募集……………	7
*診療放射線科紹介……………	3	*編集後記……………	7
*入院される方へのご案内……………	4		
*リハビリの窓……………	5		

広報誌「かけはし」は、当院のホームページでもご覧になれます。

麻酔科紹介

全身麻酔の歴史は、今から200年以上前、日本人医師である華岡青洲が行った乳がん手術の麻酔に始まるといわれています。その約40年後にはヨーロッパで初めての吸入麻酔薬による全身麻酔が行われます。これは手術に伴う痛みを取りたいという当時の医師たちの強い願いによって、探し求められた結果です。

吸入麻酔薬や静脈麻酔薬などによる全身麻酔は意識を失わせることにより、鎮痛・鎮静状態を作り出しますが、同時に呼吸・循環という人の生命に関する重要な機能も抑制します。そのため、麻酔科医は麻酔を行うだけでなく、周術期の全身管理、蘇生に携わらなければならず、その意味で麻酔科だけではなく、麻酔科・蘇生科であるのです。従って麻酔科・蘇生科の医師は麻酔だけでなく全身管理の専門家であり、集中治療や救急医療で重要な役割を担っています。

また、麻酔科医は痛みの専門家として痛みを悩む患者さん(術後の疼痛、慢性疼痛、癌性疼痛など)の疼痛緩和医療も行います。当院では、常勤医1名、非常勤

医1名、大学からの応援医師1名の体制で日常の診療を行っています。少ないマンパワーで対応しているため、現在は周術期の麻酔管理・疼痛管理をメインに担当させていただきます。2020年度は全身麻酔と脊椎麻酔(下半身麻酔)、合計して881件の手術麻酔を行いました。また、超音波ガイド下末梢神経ブロックといって、超音波(エコー)の機械を使用しながら、手や足、体幹部の神経周囲に局所麻酔薬を注射して鎮痛効果を得る手法も積極的にを行っています。

我々麻酔科医は、どの患者さんにもどの麻酔が適切かを判断して麻酔方法を選択します。そして手術前に患者さんのところに伺い、選択した麻酔方法を説明します。人によっては、全身麻酔が怖い、脊椎麻酔が怖いなど、不安なことがあるでしょう。その場合は可能な限りご希望に添えるように対応します。担当の麻酔科医にお申し付けください。

手術・麻酔を受けるということは患者さんにとっては大きなストレスになることと思います。少し

でも患者さんの不安を和らげ、安心して手術・麻酔を受けられるようにしたいと考えておりますので、気になることがありましたら、遠慮なく麻酔科医にご相談ください。

(文責：西藤)



(全身麻酔導入時)



(超音波ガイド下末梢神経ブロック)

患者さんの権利と責務

～出水郡医師会広域医療センターは患者さんの権利を尊重します～

- 1.だれでもが良質で安全な医療を受ける権利があります。
- 2.人としての尊厳は、全ての医療において尊重されます。
- 3.医療上の全ての個人情報保護されます。
- 4.検査や治療、薬の内容等については、十分な情報提供と説明を受けて、理解と同意に基づいた医療を受ける権利があります。
- 5.診療録等の内容については、本院の規則に基づき、情報開示を受ける権利があります。
- 6.自らの健康に関する情報は、医療提供者に早く、正確に伝える責務があります。
- 7.病院の諸規則を守り、他の方の療養や職員の業務に支障を来さないように配慮する責務があります。
- 8.他の医師や第三者の意見を聞き、納得した医療を受ける権利(セカンドオピニオン)があります。

令和三年度、災害訓練（机上訓練）を実施して

当院では年に1回の大規模災害訓練と年に2回の消防訓練を毎年実施しています。

今年度は9月25日（土）に災害訓練（机上訓練）を実施しました。昨年からのコロナ禍の影響もあり、昨年と同様に机上での訓練で災害対策委員会のメンバーを中心とした小人数での実施となりました。

今回の訓練では、「夜間に当院の近隣で発生した大規模災害（大型バスの横転、炎上事故）により、多数の負傷者が当院へ搬送されてくる」との想定で、当院の救急外来を中心とした、夜間の多数負傷者の受け入れ時の初動体制を確認しました。具体的には、受け入れ準備から診療開始までのシーン毎に①現場の指揮系統連絡体制②職員参集（応援要請）③診療エリアの設定④診療シミュレーションの4つをポイントに、グループごとに机上形式でデイスカッションを行いました。

机上でのデイスカッションでは診療部、看護部、技術部スタッフのそれぞれの意見より、夜間災害

発生時における現場の指揮系統、連絡体制の在り方や方法を確認する事ができ、災害対策本部の設置基準、職員参集（応援要請）の基準や手順についても、災害の程度に応じて整えておく必要があると見解が示されました。

災害の種類や程度、災害発生時の時刻帯に合わせた災害発生時の院内の初動体制を事前に確立しておく事、災害マニュアル、職員研修を通じて、院内の全職員が事前に災害発生時の自己の役割を認識しておく事など、今回の机上訓練を通して改めて「平時からの災害への備え」の重要性を認識する事ができました。

今回の訓練で挙げられた課題や問題点を、災害対策マニュアルの改訂につなげ、確立できるように災害対策委員会メンバーの一員として取り組んでいきたいと思えます。

（文責：花里）



医療機能情報提供について



当院の病院機能やサービスについて県に報告したデータをもとに鹿児島県ホームページにて公開されております。閲覧も可能となっております。また、同内容を1階医療情報センター内で自由に閲覧できるよう冊子を配置しております。

鹿児島県ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/>

診療放射線科紹介

診療放射線科では医師の依頼のもと、さまざまな装置を用いて撮影し、画像情報を提供しています。現在、診療放射線技師14名、放射線科助手1名で運用し、24時間365日、救急外来や各診療科からの要求に迅速に対応できるように人員配置しています。また、当院は高度な画像診断装置を有し、質の高い検査、高度な治療に対応できる体制をとっています。安心して検査が受けられるよう、また検査効率の改善や待ち時間の短縮など患者さんの目線に立ったサービス提供を目指しています。

検査や放射線に関して、ご不明な点がございましたら、お気軽にお声掛けください。



※撮影の為、一時的にマスクを外しております。

＜主な仕事＞

一般撮影：X線を使って体内の様子を調べる検査です。この検査は胸部や腹部、骨など全身が対象となります。胸・腹部の撮影では肺や心臓、腸管など体内の臓器の状態を、また骨の撮影では骨折や関節の変化などを観察することができます。

CT検査：身体の様々な方向からX線をあてることで、輪切りの画像を撮影する検査です。一般のレントゲンではわからない詳細な情報を得ることができ、特に、近年では技術やコンピュータの進歩によって、より広い範囲を高速に撮影することが可能になっています。

MRI検査：磁気と電波を利用して画像を撮ります。X線を使用しないので放射線による被ばくはありません。軟部組織のコントラストに優れ、頭頸部、体幹部、脊椎・脊髄、整形領域とほぼ全身に渡る断層画像をあらゆる角度で撮像することができます。

マンモグラフィー検査：

触診ではわからない乳がんや自覚症状のない乳がんなどの早期発見に有効な検査です。検査では乳房を薄く圧迫してから撮影をします。圧迫する時は多少の痛みを伴いますが、薄くすることで乳腺の重なりがなくなり、少ないX線量で撮影することができます。

超音波検査：

人の耳には聞こえないくらい高い周波数の音（超音波）を体の表面から当て、体内の臓器や組織の境目などから反射してくる音を画像として表示する検査です。各臓器の形態や構造の変化などを見ることができ、超音波は体に害を与えない（放射線ではないため被ばくはありません）ので、繰り返し検査を受けても安全で手軽な検査です。

骨密度検査：

骨密度（骨塩量）を測定する検査です。これにより骨粗鬆症や関節リウマチ、ホルモン分泌異常の診断が可能で、またそれらの経過観察及び治療効果の判定等にも利用されています。

血管造影検査、手術室業務：

検査、治療、手術時に術中透視や撮影、画像管理を行い、医師のサポートをします。

（文責：吉村）



入院される方へのご案内

＜入院費の負担を少なくするために＞

入院時限度額（高額）・減額認定資格をご存知でしょうか？

既にお持ちの方か、または以前作られた事のある方

前回の限度額適用認定証の使用期限が切れていなければ、そのまま受付へお持ちください。（期限が切れている方は再度、関係機関へ申請されて窓口へお持ちください。）

初めて申請される方

国民健康保険・後期高齢者保険の方

お住まいの各市町村役場の国保係へ申請されてください。

阿久根市 ⇒ 73-1211 出水市 ⇒ 63-2111

長島町 ⇒ 86-1111 （*詳しいお尋ねは各市町村役場へ）

社会保険（健保、組合、共済）の方

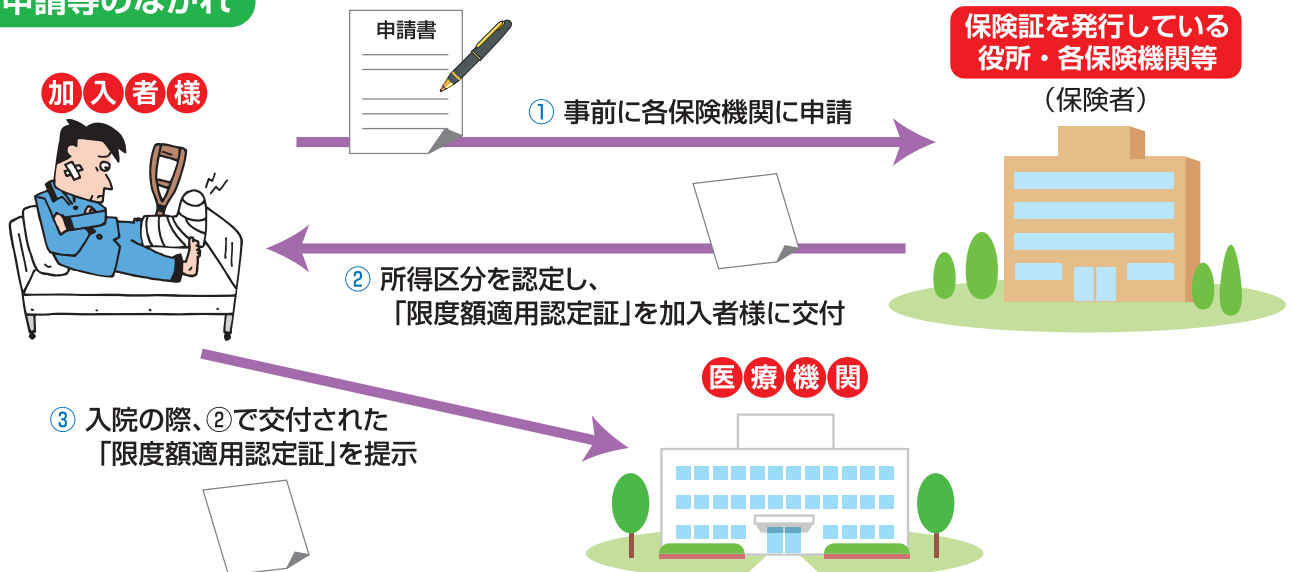
お勤めの職場の事務担当者様へお尋ねください。

*健保保険 ⇒ 全国健保協会 各支部へ
健保はご自分でも申請できます
（鹿児島支部099-219-1734）

*組合・共済保険 ⇒ 各保険団体へ

認定証を取得された方は、お早めに当院へご提示ください。
*提示がない月は減額が適用されませんのでご注意ください。

申請等のながれ



※取得されましたら当院の窓口へご提示くださいますと1ヶ月の入院費の窓口支払いが自己負担限度額までとなります。

リハビリの窓 「糖尿病の運動療法について」

「糖尿病」と聞くと、どんな印象を受けますか？「甘いものを食べ過ぎたら糖尿病になる」「糖尿病になったら、普通の生活は送れなくなる」など、誤った印象があるかもしれません。糖尿病は、一度発症すると完全に治るということはありません。しかし、自分の状態に合わせて治療の3本柱である「食事療法」・「運動療法」・「薬物療法」を行えば、健康な人と変わらない生活を送ることができます。正しい知識を持ち、上手に糖尿病と付き合っていくことで、普通の人と変わらない生活を送ることがができます。ここでは、3本柱の1つである「運動療法」について学んでいきましょう。

①運動療法はどうして必要なの？

運動療法は、「血糖値を下げる」「体重が減る」「血液の循環が良くなる」など、たくさんのメリットがあります。最大のメリットは「インスリンが効きやすい体になる」ことです。肥満のある2型糖尿病患者さんでは、インスリンに対して筋肉細胞や脂肪細胞の反応が鈍くなっています。運動を続けることによってこのような状態が改善されます。

②運動療法ではどんなことをすればいいの？

運動としては、酸素を十分に取入れて、体全体の筋肉を使う有酸素運動が効果的だといわれています。有酸素運動は、1回に20分から40分行い、週3回実施すると良いといわれています。無理なく、そして楽しくできる運動を生活に取り入れて、習慣にして長く続けることが大切です。運動する時間がない場合は、通勤の時に一駅歩く、外出中はなるべく階段を使うといった工夫をしてみましょう。

有酸素運動の例：ウォーキング、自転車、水泳、ジョギング、ラジオ体操



③運動療法で気をつけたいといけなことは

飲み薬（経口血糖降下薬）やインスリン療法などで薬物療法を実施している患者さんは、運動中に低血糖になる可能性があります。自分の使用しているお薬について、低血糖の可能性をかりつけ医に確認しましょう。また、必ずブドウ糖やジュースなどを持ち歩きましょう。運動する時間帯は、低血糖の心配が少ない食後に行うと良いでしょう。

運動療法は、食事療法と並んで糖尿病治療の大きな柱です。とはいえ、運動が苦手だったり、運動する時間がなかったりという人もいます。また、糖尿病の状態によっては、運動の制限が必要な患者さんもいます。運動療法を始める前に、必ずかかりつけ医の診断を受け、運動をしてもよい状態か、どんな運動が無理なくできるのかなど、相談をしてみましょう。

（文責：野元）

意見箱について

当院では、総合受付、各病棟の患者食堂など院内10カ所に意見箱を設置しております。当院へのご意見・ご要望などをお寄せください。なお、回答・検討・改善事項を各フロアの掲示板に掲載しますのでよろしくお願い致します。



お知らせ



外来診察表

令和3年10月1日 現在

診療科目		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
循環器内科	午前	小瀬戸 一平	東 祐大	有村 俊博	検査日	小瀬戸 一平	予約検査	
		東 祐大	末永 智大	末永 智大		有村 俊博		立石 繁宜
		大石 充 (鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学教授) 第3水曜日診察 ※都合により第4水曜日になる月もあります。						
(一般内科)	午前	(小瀬戸・東)		(有村・末永)		(小瀬戸・有村)		
心臓血管外科	午前		【第2】(熊本中央病院・心臓血管外科医)					
呼吸器外科	午前午後	上田 和弘 (鹿児島大学呼吸器外科准教授) 第2・4木曜日 要予約/要紹介						
脳神経内科	午前	児玉 大介 (鹿児島大学)						
血液内科	午前午後				島 晃大 (鹿児島大学)			
眼科	午前午後		鹿児島大学・眼科医		鹿児島大学・眼科医			
脳神経外科	午前	手術日	有田 和徳	有田 和徳	有田 和徳	検査日	予約検査	
	午後	有田 和徳	有田 和徳	有田 和徳	有田 和徳			
整形外科	午前	山下 芳隆	手術日	堀之内 駿	手術日	山下 芳隆	予約検査	
		堀之内 駿		上園 忍		吉井 理一郎		
		谷口 昇 (鹿児島大学整形外科教授) 第4火曜日 要予約/要紹介						
泌尿器科	午前	古郷 修一郎	手術日	古郷 修一郎	古郷 修一郎	古郷 修一郎	予約検査	
		上野 貴大		上野 貴大		上野 貴大		
放射線科	午前	堀之内 信	堀之内 信	堀之内 信		堀之内 信		
耳鼻咽喉科	午前午後		鹿児島大学・耳鼻咽喉科医			鹿児島大学・耳鼻咽喉科医		
消化器病センター	消化器内科	午前	灰床 裕介		上野 雄一 灰床 裕介	上野 雄一	予約検査	
	消化器外科 (外科)	午前	手術日	今村 博 田辺 元	手術日	今村 博 久保 昌亮		瀬戸山 徹郎 手術日
	化学療法外来	午前	(今村 博)	久保 昌亮	(今村 博)	田中 貴子	瀬戸山 徹郎	
	緩和ケア外来	午後				消化器外科医 (15:00~17:00)		
	セカンドオピニオン外来	午後		今村/久保 (16:00~16:30)				
	胃カメラ	午前	上野 雄一	上野/灰床	熊本大学・消化器内科医	上野/灰床	灰床 裕介	予約検査 (熊本大学・消化器内科医)
	大腸カメラ	午後	上野 雄一	上野/灰床	熊本大学・消化器内科医	上野/灰床	灰床 裕介	
	肝臓内科	午後	馬場 芳郎 (鹿児島厚生連病院/肝臓内科) 第1・3金曜日診察(受付 13:30~16:30) 要予約/要紹介					
乳腺外来	午前午後	新田 吉陽 (鹿児島大学/乳腺外科) 第1木曜日診察(受付 9:00~16:00) 要予約/要紹介						

※各診療科・担当医の診察日を確認の上、「地域医療連携室」を通して御紹介下さい。(要予約・要紹介)

※ただし急患はこの限りではありません。

※一般内科は循環器内科と併用の診察となる為、待ち時間が長くなる場合がございます。

※消化器病センターのみセカンドオピニオン外来を設置、他科については通常外来の時間帯に随時対応。

10月、11月の 出水郡医師会 日曜祭日当番医

変更になる場合がございますので、受診される前に医療機関にお問い合わせ下さい。



日 曜	市町	医療機関	TEL	医療機関	TEL
10月 31日(日)	出水	よう皮ふ科医院	63-1112	よしだ泌尿器科クリニック	63-7800
	阿久根	しみずこども医院	68-0633		
	長島	鷹巣診療所	86-0054		
11月 3日(水)	出水	東医院	67-1861	つかさとクリニック	67-5560
	阿久根	門松医院	64-6100		
	長島	長島クリニック	88-6405		
7日(日)	出水	吉田耳鼻咽喉科医院	62-0170	高尾野診療所	82-0017
	阿久根	山田クリニック	72-0420		
	長島	鷹巣診療所	86-0054		
14日(日)	出水	楠元内科医院	62-8600	来仙医院	84-2005
	阿久根	北国医院	72-0016		
	長島	平尾診療所	88-2595		
21日(日)	出水	市川医院	63-3151	吉井中央病院	62-3111
	阿久根	阿久根眼科	72-0040		
	長島	鷹巣診療所	86-0054		
23日(火)	出水	広瀬産婦人科医院	62-1559	荘記念病院	82-3113
	阿久根	脇本病院	75-2121		
	長島	長島クリニック	88-6405		
28日(日)	出水	整形外科ばぼぐちクリニック	64-8260	しもぞのクリニック	63-8300
	阿久根	林胃腸科外科	73-3639		
	長島	鷹巣診療所	86-0054		

病院ボランティア募集

出水郡医師会広域医療センターでは、患者さんの生活の質の向上、地域の人々への病院理解、病院職員への啓蒙などを目的としてボランティアを募集しています。

活動内容

- 1 身の回りのお世話
洗濯、買い物、床頭台の清掃
ゴミ捨て
 - 2 話し相手
筆談、手話、本を読む等
 - 3 その他
院内の案内
散歩に連れて行く
ベッドの移動
荷物の搬送
草刈、花壇の整備等
- (現在はコロナ禍で内容を制限しています)

(応募お問い合わせ)

出水郡医師会広域医療センター

総務課まで

TEL 73-1331
(内線 371・374)

※どうぞお気軽にお問い合わせください。

編集後記

朝晩が涼しくなり、秋を感じる季節になりました。かけはしは、今号が今年度第4号ですが、現在コロナでイベントが中止になり、記事が不足している中、各部署に協力いただき発行できました。

かけはしを読んでくださる皆様に有益な情報を提供できるよう協力をいただきながら頑張りますので、今後もよろしくお願い申し上げます。
(尻無濱)